

「川崎市立学校における教育の情報化推進計画（素案）」に対する意見募集実施結果について

1 概要

「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」（素案）は、平成 24 年 3 月に「川崎市教育の情報化推進計画」（平成 24 年 3 月）を発展させつつ、新たな時代の流れに対応するべく作成されたものであり、教育の情報化に関する本市の今後 5 年間の大きな方向性を示すものです。この素案に対し、教職員より 149 件の意見をいただきました。意見の内容とそれに対する教育委員会の考え方は次の通りです。

2 意見募集の概要

題 名	「川崎市立学校における教育の情報化推進計画（素案）」について
意見の募集期間	平成 28 年 12 月 19 日～平成 29 年 1 月 20 日
意見の提出方法	サインズウェブのアンケート機能
意見の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文書配布 ・ 校長会での説明 ・ サインズホームページ
結果の報告	サインズホームページ

3 結果の概要

意見提出数 149 件

4 意見の内容と対応

概ね「川崎市立学校における教育の情報化推進計画（素案）」の趣旨に沿った意見や要望、今後の参考にする意見の他、より実効性の高いものとなる意見があったことから、一部の意見を反映し、「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」を策定します。

【意見に対する教育委員会の考え方の区分説明】

- A 意見を踏まえ、案に反映させるもの
- B 案の趣旨に沿った意見であるもの
- C 趣旨を踏まえ、今後の参考とするもの
- D 案に対する意見・要望であり、案を説明・確認するもの
- E その他

【意見の件数と対応区分】

項 目	A	B	C	D	E	計
(1) 本市の教育の情報化に関すること		1	1			2
(2) 児童生徒の情報活用能力の育成、学習活動に関すること	2	36				38
(3) ICT環境の充実・機器整備に関すること		5	35			40
(4) ICT機器の管理手法に関すること		2				2
(5) 学校ホームページに関すること		11				11
(6) 教員のICT活用指導力（研修含む）に関すること	1	32	2			35
(7) 校務支援システムの活用、教員の負担軽減に関すること		7				7
(8) サポート体制の充実に関すること		9				9
(9) 企業等との連携に関すること		2				2
(10) 情報化推進計画の継続的な見直し		1				1
(11) その他			2			2
合計	3	106	40	0	0	149

具体的な意見の内容と教育委員会の考え方【詳細】

(1) 本市の教育の情報化に関すること（2件）

番号	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え	区分
1	少しずつ普及していてとても良い。児童も、学習の際に情報機材に慣れてきているので、教育のさらなる情報化には賛成です。	複雑化・多様化する現代社会に必要な情報活用能力の育成やICT活用による指導手法の多様化をいかした学びの質の改善に努めてまいります。	B
2	子ども一人ひとりが容易に情報にアクセスできる環境がないと思う。	本計画にあるように校種に応じ、必要な時にいつでも使える適切な機器の台数の検討を行ってまいります。その上で、平成29年度に無線LAN等の具体的な整備目標の策定の際に、いただいたご意見を参考にしましてまいります。	C

(2) 児童生徒の情報活用能力の育成、学習活動に関すること（38件）

番号	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え	区分
3	小学校や中学校の生徒の実態に合わせたチェックリストの作成をしていただきたいです。	今後、中央教育審議会における学習指導要領改訂の議論も加味しつつ、このチェックリストを更新することにより、児童生徒に身に付けさせるべき能力を改めて整理してまいります。	B
4	具体的なパソコン操作、インターネットの使い方、情報モラル、プログラミング教育などについては、カリキュラムの中のどの部分で実施していくのか具体的な案を示して頂けるとより取り組みやすいと思います。	市内全体で様々な教科や単元で情報活用能力の育成を図ることができるよう、モデルカリキュラムの開発を進めてまいります。	B

	(同趣旨の意見他 2 件)		
5	児童生徒への ICT の基本的操作等については「情報活用能力の育成に向けた学習活動一覧」を参考に、推進していくと思います。小学校の段階から、計画的に ICT の基本的操作を学習する時間を作るとよいと思います。 (同趣旨の意見他 4 件)	情報活用能力を育成する土台として、ICT の基本的な操作を位置付けるとともに、モデルカリキュラムの中に、ICT の基本的な操作を習得するための時間を設けたり、効果的な操作指導についての事例を収集したりする等、児童生徒への ICT の基本的な操作指導の充実を図ってまいります。	B
6	スマートフォン等が普及し、情報機器使用の低年齢化が進んでいると感じている。より一層重点的に情報モラル教育を行うことが必要だと思う。外部講師の活用が有効。 (同趣旨の意見他 8 件)	今後も、各校において、教職員、児童生徒向けの情報モラル研修を実施するとともに、川崎市 P T A 連絡協議会やインターネット問題連絡協議会等の諸会議において、保護者・学校・関係機関で実施されている情報モラル教育について情報交換を進めてまいります。また、独自の教材 (5 分でわかる情報教育 Q&A) や外部講師の紹介等を通して啓発に努めてまいります。	B
7	50 インチテレビや、タブレット、書画カメラ (実物投影機) の導入により、授業のスタイルに変化が見られた。使ってみると便利で活用できる場面も多い。 (同趣旨の意見他 2 件)	段階を踏んで整備を進め、各教科等において ICT を活用した主体的・対話的で深い学びの推進や個に応じた学習の充実につながるようにしてまいります。	B
8	より使いやすいデジタル教材を全市的に使えるようになると思います。また、デジタル教科書を活用できると、指導方法の幅が広がる気がするが現場での購入が難しいです。 (同趣旨の意見他 8 件)	「教育情報化推進モデル校」でデジタル教材を活用した効果的な指導手法を検討し、全市に広めてまいります。「デジタル教科書」については国の方針を見据えながら、段階的に整備を進めてまいります。	B
9	素案にあるように ICT の活用事例を校務用ネットワーク (SAINS-WEB) で共有できるとよい。 (同趣旨の意見他 5 件)	単元計画や指導案を SAINS-Web (教員向け情報共有 Web ページ) 上で共有する等、教員が手軽に閲覧できるような工夫を図ります。	B
10	個人情報の取扱いについての許可があるならば、クラウドサービスを活用して自宅における学習を推進したり、授業を欠席した生徒に対して支援したりする等の環境があると良いと考える (同趣旨の意見他 1 件)	ご提案いただきました内容を踏まえ、教室以外での学習や授業を欠席した児童生徒を支援するためにオンライン学習が可能な環境整備が今後ますます求められると考えておりますので、表現を改め案に反映させる方向でおります。	A
11	双方向・協働型ともに、教員の疑似体験研修を用意して、学習形態の良さを実感してもらいましょう。モデル校だけでなく、全市的にいけるようになると思います。 (同趣旨の意見他 1 件)	まずは、モデル校でこれらの学習を推進できる体制、その効果や指導上の留意点等を検証したうえで、全市的に広めていけるように努めてまいります。教員の疑似体験が行える研修についても検討してまいります。	B

(3) ICT 環境の充実・機器整備に関すること (39件)

番号	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え	区分
12	校務用に関して、臨任・非常勤の先生方の分や学校栄養職員、用務員の方の分が不足している現状です。すべての職員に1台ずつ配備が望ましいと思います。 (同趣旨の意見他4件)	校務用コンピュータは実際に作業をする教職員の数に合わせた整備を検討してまいります。	B
13	タブレット型パソコンをグループ1台ではなく40台配置していただきたいです。40台だと一人一台使用できるため活用しやすくなります。 (同趣旨の意見他7件)	本計画の中で、タブレット型パソコンの台数については、「使用時に1人1台端末の活用」を実現できるよう検討しますが、現在約10万人の児童生徒が在籍する本市の実情に照らし、財政面についても考慮しつつ、校種に応じ、必要な時にいつでも使える適切な台数の検討を行った上で、平成29年度に無線LANや電源整備なども含め具体的な整備目標を設けることとしています。また、だれでも手軽に使い、わかる授業の実現に効果的であり、かねてより教員から要望の強かった実物投影機の常設化へ向けてさらなる導入を検討するとしています。いただいたご意見につきましては、今後の整備の際の参考にさせていただきます。	C
14	アクセスポイント3台では少ないです。より使いやすい環境として無線LANのさらなる整備を求めます。 (同趣旨の意見他18件)		
15	各教室で実物投影機などがいつでも使えるとありがたいです。 (同趣旨の意見他1件)		
16	支援を必要とする児童生徒のために使いやすいアプリが多いときいているタブレットPCがよいと思うのですが。 (同趣旨の意見他1件)	ICTの整備に関しては、安価で耐久性があり長期継続契約が可能な機器を選定し整備を進めております。いただいたご意見につきましては、今後の整備の際の参考にさせていただきます。	C
17	平成22年に配備された50インチテレビの故障が校内で相次いでいます。全市的に対応の必要があると思います。	50インチテレビにつきましては、教育委員会事務局内で、今後の対応について検討を進めてまいります。いただいたご意見につきましては、今後の検討の際の参考にさせていただきます。	C
18	校内共有フォルダの構築がある学校とない学校がある。校務支援システムで共有できる部分もできたが、校務分掌のデータ引き継ぎなど、どの学校にも校内共有フォルダがあるといいと思う。 (同趣旨の意見他1件)	共有フォルダ(学校独自で構築したネットワークドライブ)のあり方につきましては、今後の校務支援システムの更新を検討する中で課題として取り上げていく方向で考えております。いただいたご意見につきましては、今後の整備の際の参考にさせていただきます。	C

(4) ICT 機器の管理手法に関すること (2件)

番号	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え	区分
19	今後、さらにタブレット等の端末の台数が増えていった場合、端末の管理や導入されているアプリケーションソフトの管理が大変になります。管理を容易にする方法の検討が必要です。 (同趣旨の意見他1件)	IPアドレス等の設定情報を一元的に整理したり、ソフトウェア資産管理システム等でライセンス等を効率的に管理したりする方法を検討してまいります。	B

(5) 学校ホームページに関すること (11件)

番号	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え	区分
20	開かれた学校は大切ではありますが、ホームページを更新することは、機械操作の得意ではない担当の大きな負担となっています。また、多忙化に拍車をかけることとなります。できるだけ簡単な方法でホームページが更新できると助かります。 (同趣旨の意見他9件)	学校からの積極的な情報発信は、学校の状況を理解する上で貴重な情報源となり、地域、保護者との連携を高めます。より効率的・効果的にホームページ運用とより簡単なホームページの更新のために、コンテンツマネジメントシステム (CMS) 等の導入を検討してまいります。	B
21	個人情報の取り扱いに気をつけながら、積極的に情報発信すべきだと思います。	個人情報の取り扱いに気をつけた情報発信について管理職をはじめ教職員への周知に努め、積極的な情報発信を推進してまいります。	B

(6) 教員の ICT 活用指導力 (研修含む) に関すること (35件)

番号	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え	区分
22	支援教育では、人数が少ない分、タブレットPCなどのICTが有効に活用できる場面が多いので、活用を推進していきたい。(同趣旨の意見他5件)	いわゆる「障害者差別解消法」により、全ての学校で「合理的配慮」が義務付けられました。ICTは、「合理的配慮」を実現する極めて有効な手段の一つとして大きな期待が寄せられています。これらを踏まえ、支援教育におけるICT環境の一層の充実を検討してまいります。	B
23	校内の自主的な研修で、情報モラル教育やICT活用の実技研修を今後も計画的に行っていきたいです。 (同趣旨の意見他6件)	校内での研修につながるよう、各種研修計画を体系的に整理し、適切な研修の在り方を検討し、新たな研修計画を立案してまいります。	B
24	総合教育センターの研修が、より重要になってくるので、今後も、効果的な研修を行ってほしいです。 (同趣旨の意見他7件)	今後も計画的に「ICTを活用した授業力向上研修」、「校長研修」等の各種研修を実施し、ICT活用指導力の向上を図ってまいります。	B
25	機器の準備をするのに時間がかかるので、サポートをする人材の必要性を感じ	機器トラブル等の対応につきましては、総合サポートデスクの設置を検討してまいり	B

	る。機器に不慣れな人はなおさらそう感じる。 (同趣旨の意見他 5 件)	ます。また、トラブルだけではなく ICT の活用方法についても一元的に対応できるような体制の構築してまいります。	
26	人を集めることなく、ICT を活用した研修も考えるべきである。	6,000 人を超える教員の ICT 活用指導力に関して、一定水準を保つことができるよう、教員それぞれの状況に応じて eラーニングも含めた研修のあり方を検討してまいります。	B
27	ID やパスワードの管理は非常に大切なので、情報セキュリティの研修は確実に行ってほしい。	ご提案いただきました通り、情報セキュリティの研修は非常に重要だととらえております。セキュリティ対策のさらなる徹底を図るために表現を改め案に反映させる方向でおります。	A
28	若い人が増えている中で、情報セキュリティ・情報モラルに関する研修は充実させていきたいです。 (同趣旨の意見他 3 件)	情報セキュリティポリシーの徹底を図るとともに、教員向けの研修を実施し、情報セキュリティに関する意識のさらなる向上を図ってまいります。	B
29	USB 管理が難しいです・・・管理を徹底すると苦しくもなります。 (同趣旨の意見他 1 件)	可搬媒体 (USB メモリ等) の管理・運用につきましては、情報セキュリティポリシーを順守するよう周知しております。今後もセキュリティポリシーの徹底を図るとともに、本計画の各種事務事業の推進状況に応じて情報セキュリティポリシーを見直し、必要な改定を行うことも考えております。いただいたご意見につきましては、今後の改訂の際の参考にさせていただきます。	C

(7) 校務支援システムの活用、教員の負担軽減に関すること (7 件)

番号	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え	区分
30	使いやすくなっているので、今後、改良や運用の工夫をしながら活用していきたいです。(同趣旨の意見 2 件)	校務支援システムの運用につきましては共通ルールを設ける等、運用の効率化につきまして改めて検証するとともに、システム更新に向けた検討を進めてまいります。	B
31	紙とデジタルの併用なことが多々あるので、よりデジタル化に向けた運用を考えてほしい。 (同趣旨の意見他 1 件)		
32	便利であるが、操作に関しては、支援が必要な時がある。その際には、コールセンターが大変役に立っている。	総合サポートデスクを設置し、機器トラブル、アプリケーションの不具合、ICT の活用方法に至るまで一元的に対応できるような窓口の一本化を図ってまいります。	B
33	校務支援システムは、支援級への対応が	支援級の校務支援システム運用の効率化に	B

	不親切な部分があります。	つきましては改めて検証するとともに、システム更新に向けた検討を進めてまいります。	
--	--------------	--	--

(8) サポート体制の充実に関すること (9件)

番号	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え	区分
34	操作が不慣れな教員が多いため、情報担当者の負担過重が問題になっています。研修だけでなく ICT 支援員や専門知識を持った人材を現場に取り入れ、積極的にアドバイスを得られる環境にするべきだと思います。 (同趣旨の意見他 8 件)	すべての教職員が ICT の使い方を理解できるように、研修だけではなく ICT 支援体制の在り方を検討したり、民間事業者と連携してサポート体制の充実を図ったりしてまいります。	B

(9) 企業等との連携に関すること (2件)

番号	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え	区分
35	モデル校や推進校だけでなく、全市的に各校で企業や地域と連携ができるようにしてほしい。(同趣旨の意見他 1 件)	本市では過去にも企業と共同実証研究を行ったり、大学と連携して研究を推進したりする等、各種の連携を図ってきました。今後はこれを発展させ、共同実証研究を進めたり、児童生徒向けに独自のコンテスト事業を企画したりする等、企業や地域との連携をさらに深めてまいります。	B

(10) 情報化推進計画の継続的な見直し (1件)

番号	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え	区分
36	教育の情報化推進計画は専門的な知見からの見直しは随時必要だと思います。	「情報化推進協議会」を中心に PDCA サイクルを循環させ、本計画の継続的な見直しを図り、その都度最適な教育の情報化事務事業が実施されるようにします。	B

(11) その他 (2件)

番号	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え	区分
37	児童生徒に個々にタブレットを貸与した場合に管理をどうしていったらよいか。	ICT 機器の管理・運用は、各学校で行っておりますが、今後も、いつでも必要なときに使用できる機器やネットワークの整備、体制づくりをし、安全安心な環境整備を進めてまいります。いただいたご意見につきましては、今後の整備を進める際の参考にさせていただきます。	C
38	タブレットを使いやすく、なおかつ電源管理も含め、合理的に収納管理する方法が必要である。		